

戦争を知らない世代にも平和の尊さが伝わる企画展です。

# 平和を願う戦争映画資料展

日時/ '15.7月11日(土)~9月30日(水) 9:00~17:00まで 【※8月13日(木)は休館日】



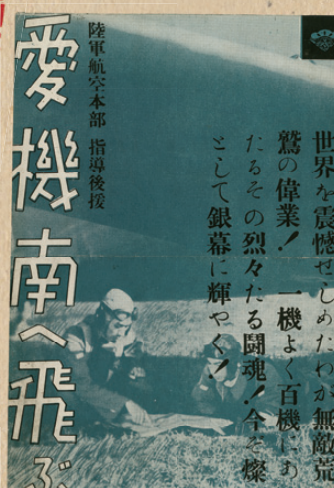
海軍戦記 1948年 (日本映画社)



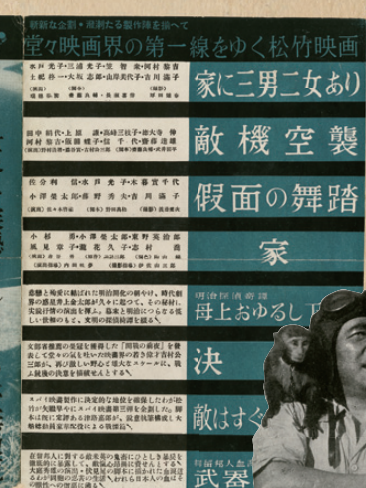
義の音 1948年 (小早川秋聲作)



求敵必滅  
炎熱の海上に激闘するわが将兵を



愛機南へ 1948年 (松竹映画)



グラフィック【戦争と芸術】昭和13年発行 (映画・美術・舞踏・文学を特集 定価20銭)



西部戦線異常なし 1918年



5人の斥候兵 1938年



グラフィック掲載の雑誌広告

◆マンズリーシアター上映会(無料)  
8月23日(日)「土と兵隊」  
◆会場/旧大連航路上屋 2F ◆時間/ 14:00~16:00  
※お問い合わせ/ 門司港レトロ総合インフォメーション  
TEL093-321-4151

7月11日(土)~9月30日(水)  
文庫 松永



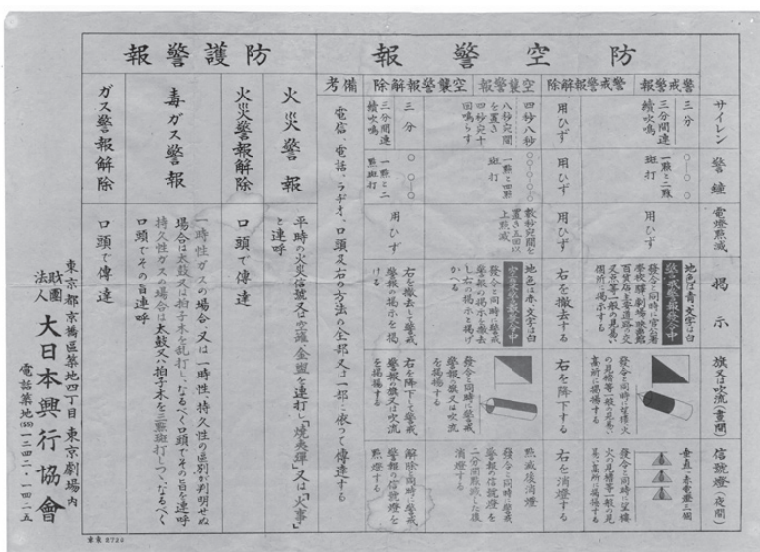
# 平和を願う戦争 映画資料展 ●入場無料

## 「戦争映画資料展」によせて

大衆の娯楽であった映画が、どのようにして戦争に束縛され、利用されていったのか。人間が犯す最大の愚行、戦争。

原爆に象徴され、人々の心の中まで深く傷つける野蛮な戦争を、戦後、どのような反省と自戒を込めて描き続けているであろうか。

松永文庫は、今後この視点をテーマに据えて、毎年「戦争映画資料展」を開催したいと考えています。それは、この場所が沢山の兵隊や、軍馬などが、愛する祖国、最愛の家族の幸せを願って出征した歴史を含んだ建物であるからです。



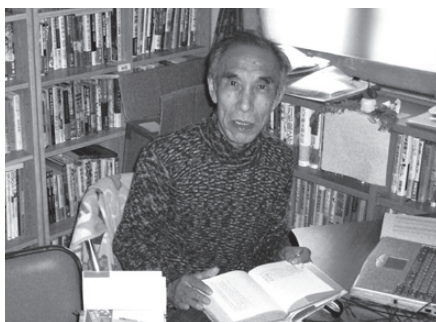
◀戦時下の東京都内の映画館内に掲示された防空警報に関する注意書き。

### ■主な展示ポスター

- 五人の斥候兵 (1938)
- 土と兵隊 (1939)
- 硫黄島 (1959)
- 戦争と人間 (1970)
- トラ・トラ・トラ (1970)
- 子どものころ戦争があった (1981)
- 戦場のメリークリスマス (1982)
- プラトーン (1986)
- 海と毒薬 (1986)
- パール・ハーバー (2001)
- 靖国 (2007)
- 私は貝になりたい (2008) ほかに20点

### ■イベント情報

- 「花びも悲しみも幾年月」〈フィルム上映〉  
〈1957年東宝 主演：高峰秀子 佐田啓二〉  
7月20日(祝・月) 14:00~16:00
- マンスリーシアター 〈DVD上映〉  
7月のマンスリーシアターはお休みします。  
8月23日(日)『土と兵隊』  
〈1939年日活 原作：火野葦平〉



松永 武 [まつなが けいじ]

1935年(昭和10年)門司生まれ。19歳で映画監督を目指して京都へ。その後、海運関係の仕事に従事しながら、映画研究のため資料の収集を始める。1997年(平成9年)自宅を改装して収集した資料を公開する私設図書館「松永文庫」を開設。2009年(平成21年)すべての資料を北九州市に寄贈。門司市民会館内で無料一般公開。2013年(平成25年)旧大連航路上屋内で資料展示を開始。

新聞記事は生きている。だから生かし続けたい。

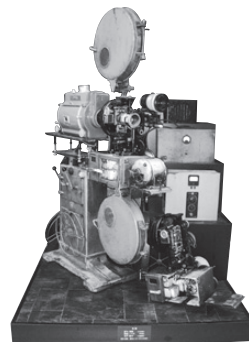
松永文庫の特性は、映画俳優を含む芸能全般に関わる、いわゆる芸能人と称される人達の「生き方」に力点を置いて関係資料を収集し続けていることです。



## 松永文庫について

松永文庫は、1997年(平成9年)10月、松永武(門司区長谷)が、映画研究のためにおよそ60年にわたって収集した映画・芸能関連の資料を、自宅を開放して無料公開し誕生しました。2009年(平成21年)11月、これらの資料すべてを北九州市に寄贈。

北九州市の文化施設として、門司市民会館内(門司区老松町)で無料一般公開されました。以来、テーマを決めて館内・館外企画展を開催し、県内外から訪れる多くの来館者に映画文化を紹介しています。2013年(平成25年)7月、旧大連航路上屋グランドオープンに伴い、この地で松永文庫の資料展示を始めました。



レトロの街の映画・芸能資料館

松永文庫

展示室(旧大連航路上屋):北九州市門司区西海岸1-3-5 松永文庫

TEL(093)331-8013 FAX(093)331-8012 E-mail:matsunaga.bunko@gmail.com